

カラムシ

[草本] 《忌避》



引用:1(3枚とも)

区別のポイント

葉は互生し広卵形～卵円形。上面はざらつき下面に白綿毛を密生。群生する枝と葉柄に粗い大きな毛を付ける。ヤブマオの葉は対生する。

形態 原野にも自生しているが栽培されていた多年草。高さ1～2 m。

分布 日本全国。

名前の由来 繊維を取るため茎（カラ）を蒸して皮を剥ぎ取ることから。

葉 〈全体〉広卵円形あるいは卵円形で長さ10～15 cm。

〈付き方〉互生。

〈葉柄〉長さ3～9 cm。

〈基部〉円形からくさび形。

〈葉先〉短く尾状となる。

〈縁〉粗鋸歯。

備考

出典 4, ※